



2026年3月期 第3四半期決算説明会

株式会社SUBARU

取締役常務執行役員 CFO 戸田 真介

2026年2月6日

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

皆さま、こんにちは。SUBARUの戸田でございます。

2026年3月期の第3四半期の決算について、ご説明します。

■ 第3四半期累計実績

- 生産台数: **657千台**(対前年9.4%減) / 連結販売台数: **676千台**(対前年4.5%減)
バッテリーEVの自社生産に向けた工事の影響により、生産台数・連結販売台数ともに**前年比では減少**
- 営業利益: **663億円**(対前年82.0%減)
販売活動では、価格構成の改善や販売奨励金の抑制が利益に貢献
米国追加関税影響は2,166億円へ増加。第3四半期3ヵ月に実施した特殊要因による諸費用の計上もあり
前年を下回る

■ 通期見通し

- 生産台数: **900千台**(対前年4.9%減) / 連結販売台数: **920千台**(対前年1.8%減)
生産台数・連結販売台数は変更なし
- 営業利益: **1,300億円**(対前年67.9%減)
米国追加関税影響が440億円増加、米国環境規制の変更案を受けた関連費用310億円の計上を
主因に**下方修正**

はじめに、第3四半期決算のポイントについて、簡単にふれさせていただきます。

第3四半期累計実績は、生産台数は前年同期比9.4%減の65万7千台、
連結販売台数は同4.5%減の67万6千台となりました。

生産・連結販売台数ともに前年同期に対して減少しましたが、
当初よりアナウンスしていたバッテリーEVの自社生産のための矢島工場の工事による影響で
す。工事は計画通り終了し、無事バッテリーEVの生産を開始しています。

営業利益は、663億円となりました。

販売活動では、価格構成の改善や販売奨励金の抑制が利益に貢献。

一方、米国追加関税の影響が、当初想定の通期2,100億円に対し第3四半期9ヵ月累計で2,166
億円となり、また、第3四半期3ヵ月での特殊要因による諸費用の計上もあり、営業利益は前年
を下回りました。後程、詳細をご説明します。

続いて、通期見通しです。

生産台数・連結販売台数は、前回見通しから変更ありません。

営業利益は、米国追加関税影響が前回見通しから440億円増加となること、

また、米国環境規制の変更案を受けた関連費用の計上を主因に、今般、前回見通しから下方
修正し、1,300億円としております。

2026年3月期 第3四半期累計実績

第3四半期累計実績 生産台数・連結完成車販売台数

(千台)

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
米国生産	264	257	-7
国内生産	461	399	-61
生産台数* 合計	725	657	-68

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
連結完成車販売台数 合計	707	676	-32

* トヨタ向けGR86の台数を含む

まず、2026年3月期 第3四半期累計実績をご説明します。

生産台数は、前年同期比6万8千台減の65万7千台となりました。

内訳は、米国生産は7千台減、国内生産は6万1千台減となっております。

これは、バッテリーEVの自社生産の工事に伴い、1月末まで矢島工場の2ラインのうち1ラインを一時的にシャットダウンしていた影響です。

連結販売台数は、前年同期比3万2千台減の67万6千台となりました。

第3四半期累計実績 連結完成車販売台数（市場別）

（千台）

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
登録車	66	67	+1
軽自動車	10	11	+1
国内合計	75	78	+2
米国	506	479	-27
カナダ	52	51	-0
欧州	16	15	-1
豪州	32	27	-4
中国	2	2	-0
その他	24	23	-1
海外合計	632	598	-34
合計	707	676	-32

市場別の連結販売台数実績です。

市場別では、海外市場での販売台数が減少しました。

主要市場の米国では、前年同期比2万7千台減となりましたが、

先程、申し上げましたように、矢島工場のシャットダウンに伴う生産影響によるものです。

第3四半期累計実績 連結業績

(億円)

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
売上収益	35,363	35,190	-174
国内	4,738	5,115	+377
海外	30,626	30,074	-551
営業利益	3,692	663	-3,029
税引前四半期利益	4,260	1,190	-3,070
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	3,174	831	-2,343
為替レート US\$	¥152	¥148	-¥4
EURO	¥163	¥170	+¥6
CAN\$	¥111	¥107	-¥4

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

続きまして、連結業績です。

売上収益は、

販売台数の減少や、USDドルが約4円の円高に進んだことに伴う減収影響がありましたが、
価格構成の改善や販売奨励金の抑制に努めた結果、3兆5,190億円となりました。

一方で、営業利益は前年同期比3,029億円減となる663億円となりました。

第3四半期9ヵ月累計が減益となった主因は、

第3四半期3ヵ月に発生した特殊要因に伴う費用計上です。

詳細は次のページで説明します。

また、税引前四半期利益は3,070億円減となる1,190億円、

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、2,343億円減の831億円となりました。

第3四半期(3ヵ月) サマリー

- ✓ 事業活動では、市場競争が厳しい中で、一定の成果を収められた
- ✓ 一方、特殊要因への対応として約600億円の費用を計上したことにより減益

■ 第3四半期(3ヵ月) 実績のポイント

事業活動		<ul style="list-style-type: none">・ 新車の価格構成改善(前年同期比 135億円増)・ 米国の販売奨励金の抑制(台あたり2,100ドル、前年同期比50ドル減)
特殊 要因	米国追加関税影響	・ 米国の現地調達部品 に関わる関税影響や 円安 による為替影響、また、 保証修理用部品 にも影響が波及し 約210億円を追加計上
	米国環境規制の変更	・ 規制変更案を受けて、保有している 環境規制クレジットの減損を含め、総額で約280億円の費用計上
	期末時点の急激な円安 (2Q末149円→3Q末157円)	・ 外貨建て保証修理引当金 の円換算評価が 約110億円増加

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

次に、第3四半期9ヶ月累計が大きく減益になった背景である、第3四半期3ヶ月の状況についてご説明します。

事業活動については、米国市場の全需が前年比でマイナス、業界全体の販売奨励金が上昇する等、厳しい競争環境にありましたが、ブランドを維持する販売戦略で一定の成果を収めました。新車販売では、前年同期比 135億円増の価格構成改善。また米国市場向け販売奨励金は、前年同期比50ドル減の台当たり2,100ドルに抑制しました。

一方で、特殊要因として約600億円の費用を計上いたしました。

主な要因は3点あります。

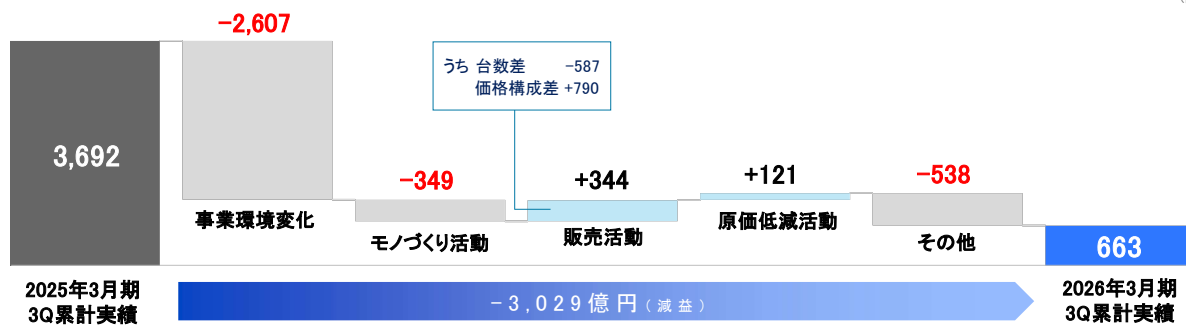
1点目は、米国の追加関税影響です。現地調達部品に関わる関税影響や円安による為替影響、また、保証修理用部品にも影響が波及したことで、約210億円追加計上しました。

2点目は、米国の環境規制の変更案を受けて、保有する環境規制クレジットの減損を含め総額で約280億円の費用を計上しました。

3点目は、期末の急激な円安の影響により、外貨建て保証修理引当金の円換算評価が約110億円増加しました。

これらの特殊要因による費用を計上したことにより、第3四半期3ヵ月の営業利益は-364億円となりました。

なお、特殊要因による費用計上を除いた場合の営業利益は、約240億円となります。



事業環境変化	-2,607	モノづくり活動	-349	販売活動	+344	原価低減活動	+121	その他	-538
為替影響*	-240	製造固定費	-80	台数差・価格構成差	+203	原価低減	+121	保証修理費	-293
・売上仕入レート差	-307	研究開発費	-269	販売奨励金	+111			その他経費	-347
・未実現利益分	+81			販売関連費	+30			上記以外	+102
・期末日レート差	-14			部品用品	-30				
原材料・市況	-201			自動車その他利益	+30				
米国追加関税影響	-2,166								

*海外向け売上分において、為替レートの変動により影響を受けたものは「売上仕入レート差」と「未実現利益分」。外貨建て引当金残高を円換算評価する際に生じた影響は「期末日レート差」。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

続いて、第3四半期累計の営業利益 前年実績比 増減要因です。

米国での追加関税影響により2,166億円の減益となりました。

その他経費で347億円の減益となりましたが、こちらには環境規制関連費用280億円の増が含まれています。

以上の減益影響に対し、

販売活動では、価格構成の改善や販売奨励金の抑制等により344億円増加となりました。

なお、米国市場向けの販売奨励金は、前年同期比50ドル減となる、台当たり1,950ドルとなっております。

キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	
営業活動によるCF	3,346	2,022	
投資活動によるCF	-2,588	-1,424	
フリーCF	758	598	
財務活動によるCF	-1,783	-1,677	
現金及び現金同等物の為替影響額	204	243	
	2025年3月末	2025年12月末	増減
定期預金含む現金及び現金同等物 (A)	15,897	14,184	-1,713
内、現金及び現金同等物	9,415	8,578	-837
定期預金	6,482	5,606	-876
有利子負債 期末残高* (B)	3,995	4,130	+135
定期預金含むネットキャッシュ(A-B)	11,902	10,054	-1,848

*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

続きまして、キャッシュフローおよび手元資金の状況です。

営業活動によるキャッシュフローは2,022億円、
投資活動によるキャッシュフローは-1,424億円となり、
その結果、フリーキャッシュフローは598億円となりました。

定期預金を含む現金及び現金同等物は、前期末に対し1,713億円減となる1兆4,184億円、
有利子負債残高は、前期末に対し135億円増の4,130億円となりました。
その結果、定期預金を含むネットキャッシュは、
前期末に対し1,848億円減の1兆54億円となっております。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
設備投資 * 1	1,091	1,453	+362
減価償却費 * 1	714	742	+28
研究開発支出 * 2	1,052	1,091	+39

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

2026年3月期 見通し

通期見通し 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2025年3月期 通期実績(a)	2026年3月期 前回見通し*2 (b)	2026年3月期 今回見通し(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	345	-	-	-	-
国内生産	602	-	-	-	-
生産台数*1 合計	946	900	900	-46	±0

	2025年3月期 通期実績(a)	2026年3月期 前回見通し(b)	2026年3月期 今回見通し(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結完成車販売台数 合計	936	920	920	-16	±0

*1 トヨタ向けGR86およびbZ4X Touring/bZ Woodlandの台数を含む
*2 2025年11月10日発表値

続いて、2026年3月期 通期見通しについてご説明します。

台数見通しは前回から不変で、生産台数90万台、連結販売台数92万台とします。

先ほど申し上げた通り、バッテリーEV自社生産のための矢島工場の工事は終了し、無事バッテリーEVの生産を開始しています。

残りの期間でも、出来るだけ機動的な生産・販売調整で、計画達成を目指して行きます。

通期見通し 連結完成車販売台数（市場別）

（千台）

	2025年3月期 通期実績(a)	2026年3月期 前回見通し(b)	2026年3月期 今回見通し(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
国内合計	104	110	104	-0	-6
北米	732	725	727	-5	+2
北米以外	101	85	89	-12	+4
海外合計	832	810	816	-16	+6
合計	936	920	920	-16	±0

市場別の連結販売台数見通しについてはご覧の通りです。

■ 関税影響

- 追加関税影響額は前回見通し2,100億円から2,760億円へ増加
- 追加関税の相殺措置等を含めた収益への実影響額は**440億円増加**

当初見通し: 2,100億円 / 相殺措置等による影響減 250億円、 実影響額1,850億円	+440億円
今回見通し: 2,760億円 / 相殺措置等による影響減 470億円、 実影響額2,290億円	

■ 環境規制関連費用

- 米国環境規制変更案を受けた、環境規制関連引当金計上の前提条件変更により、**310億円の増加**

次に、営業利益の前回見通しからの主な変化についてです。

まずは追加関税影響です。

当初の見通しでは2,100億円の影響、米国政府による相殺措置等による影響減として250億円、収益への実際の影響額は1,850億円としていました。

これに対し、今回の実際の影響額の見通しは、440億円増の2,290億円となります。

自動車関税率15%化のタイミングが、当初前提の9月1日から9月16日となったことや、米国での現地調達部品の関税影響の増加、保証修理部品に対する関税影響の波及、また、鉄鋼・アルミ関税の適用など関税政策の変更により増加しております。

次に、環境規制関連費用についてです。

主要市場である米国での環境規制の変更案を受け、規制関連引当金計上の前提条件を変更し、310億円の増加となる見通しです。

尚、本件は来期以降に損失計上の可能性があるものを今期計上しています。

通期見通し 連結業績

(億円)

	2025年3月期 通期実績(a)	2026年3月期 前回見通し(b)	2026年3月期 今回見通し(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上収益	46,858	45,800	48,000	+1,142	+2,200
国内	6,514	-	-	-	-
海外	40,344	-	-	-	-
営業利益	4,053	2,000	1,300	-2,753	-700
税引前利益	4,485	2,300	1,800	-2,685	-500
親会社の所有者に帰属する 当期利益	3,381	1,600	1,250	-2,131	-350
為替レート US\$	¥152	¥145	¥150	-¥2	+¥5
EURO	¥162	¥155	¥173	+¥11	+¥18
CAN\$	¥110	¥100	¥110	+¥0	+¥10

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

次に、連結業績見通しです。

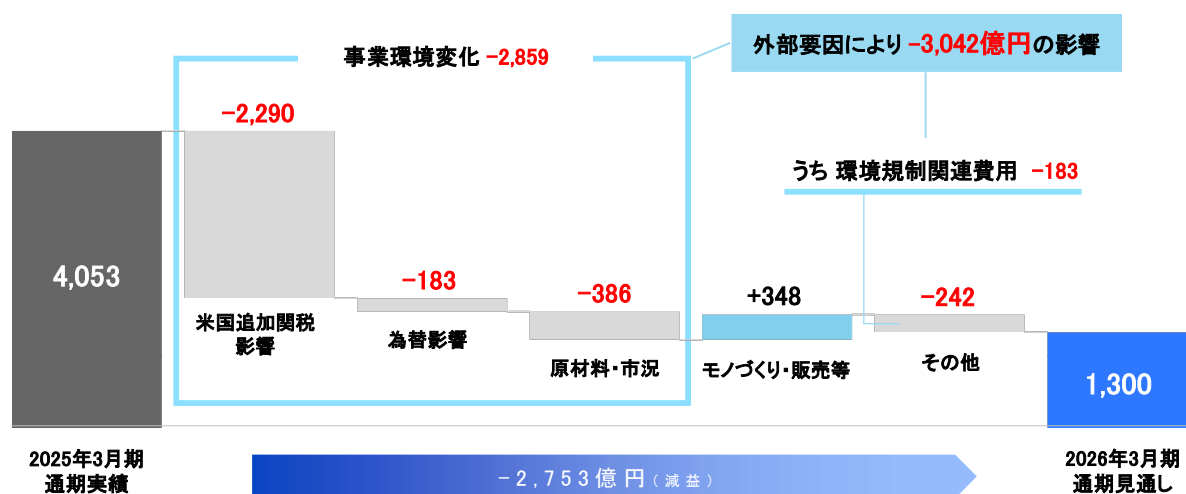
生産・連結販売台数は不変、為替効果もあり、売上収益は4兆8,000億円と前回見通しより増収となります。

ただし、為替レート変動の反映、また先ほど申し上げた追加関税や環境規制変更案による特殊要因を受けて、営業利益は1,300億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,250億円に修正します。

尚、第4四半期3ヵ月では、矢島工場の工事終了に伴う生産・販売台数の回復や、既に申請済みの自動車部品にかかる追加関税の相殺措置が認可されることを踏まえた収益見通しとしております。

前年実績対比
通期見通し 営業利益増減要因

(億円)



前年実績対比で、営業利益は2,753億円の減益となりますが、
主因は米国の追加関税影響および環境規制関連費用の増加に伴うものです。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2025年3月期 通期実績(a)	2026年3月期 前回見通し(b)	2026年3月期 今回見通し(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 *1	1,761	2,500	2,300	+539	-200
減価償却費 *1	968	1,000	1,000	+32	±0
研究開発支出 *2	1,600	1,600	1,600	+0	±0

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。
 尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資・減価償却費・研究開発支出については、ご覧の通りです。

株主還元

(円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 前回予想	2026年3月期 今回予想
中間配当金	48	57	57
期末配当金	67	58	58
年間配当金	115	115	115
自己株式取得	500億円*	未定	未定

* 2025年12月23日に取得終了。取得した自己株式は2026年1月20日に全数消却済み。

最後に、株主還元についてです。

当社還元方針で掲げるDOE3.5%に基づき、配当を行っていきます。

尚、2026年3月期の1株当たり配当は、前回予想通り、年間115円予想としています。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報です。

以上で2026年3月期 第3四半期決算の説明を終わります。

ありがとうございました。

ご参考

- ・ セグメント情報（事業別 / 所在地別）
- ・ 海外売上収益
- ・ 連結財政状態計算書
- ・ 単独販売台数
- ・ 米国子会社業績
- ・ 第3四半期（3ヵ月）連結業績実績
- ・ 2025年3月期実績及び2026年3月期実績（四半期別）
- ・ 生産台数 / 小売台数 推移

第3四半期累計実績 事業セグメント情報

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
自動車	34,563	34,192	-371	3,693	581	-3,112
航空宇宙	761	960	+198	-52	32	+84
その他	39	38	-1	46	44	-2
消去・全社	-	-	-	5	6	+1
合計	35,363	35,190	-174	3,692	663	-3,029

自動車事業セグメント 営業利益（管理値）

（億円）

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
新車	2,351	-739	-3,089
部品用品	1,144	1,113	-31
その他*	197	206	+8
合計	3,693	581	-3,112

* 金融、コネク特、中古車、整備による利益

第3四半期累計実績 所在地別セグメント情報

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
日本	6,878	7,395	+517	2,961	-709	-3,670
北米	27,672	27,023	-649	1,113	954	-159
その他	814	772	-42	-1	20	+21
消去・全社	-	-	-	-381	398	+779
合計	35,363	35,190	-174	3,692	663	-3,029

第3四半期累計実績 海外売上収益

(億円)

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
北米	28,260	27,723	-537
欧州	692	702	+10
アジア	288	201	-88
その他	1,385	1,449	+63
合計	30,626	30,074	-551

連結財政状態計算書

(億円)

	2025年3月末	2025年12月末	増減
資産合計	50,882	52,402	+1,520
流動資産	31,912	32,145	+233
非流動資産	18,970	20,258	+1,287
負債合計	23,725	24,902	+1,176
有利子負債	3,995	4,130	+135
資本合計	27,157	27,501	+344
利益剰余金	21,065	20,990	-75
親会社の所有する帰属持分	27,145	27,488	+343
親会社の所有者に帰属する持分比率	53.3%	52.5%	-0.9%
D/Eレシオ	0.15	0.15	+0.00

第3四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
国内生産*	461	399	-61
国内売上	82	83	+1
登録車	71	70	-1
軽自動車	11	13	+2
輸出台数	387	331	-56
海外生産用部品	256	260	+3
単独合計売上	725	674	-51

* トヨタ向けGR86の台数を含む

第3四半期累計実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
売上高	16,773	16,846	+73
営業利益	348	634	+286
当期純利益	362	599	+238
小売販売台数(千台)	513	475	-38
SIA *2	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減
売上高	7,643	7,447	-196
営業利益	241	-147	-388
当期純利益	225	-66	-291
生産台数(千台)	264	257	-7

*1 SOA: Subaru of America Inc. *2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第3四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2025年3月期 3Q実績	2026年3月期 3Q実績	増減
登録車	22	22	-0
軽自動車	3	4	+0
国内合計	26	26	+0
米国	189	139	-49
カナダ	17	18	+2
欧州	7	5	-2
豪州	10	7	-3
中国	1	1	-0
その他	9	7	-1
海外合計	232	177	-55
合計	258	203	-55

第3四半期(3ヵ月)実績 連結業績

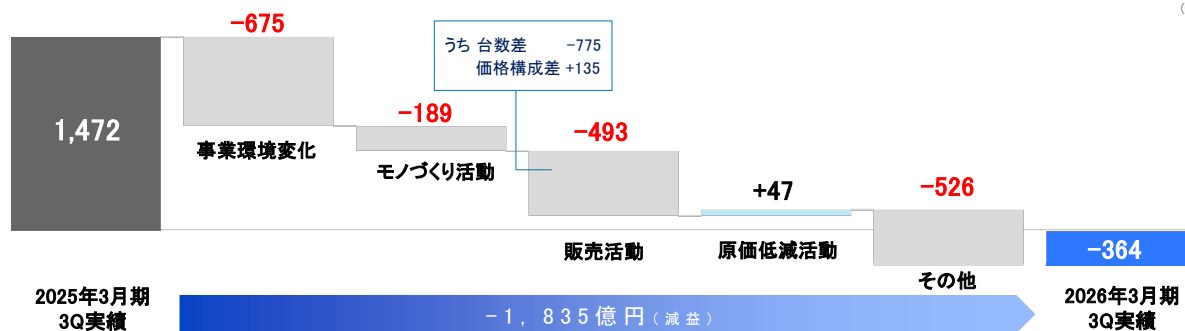
(億円)

	2025年3月期 3Q実績	2026年3月期 3Q実績	増減
売上収益	12,702	11,333	-1,369
国内	1,616	1,772	+155
海外	11,086	9,561	-1,524
営業利益	1,472	-364	-1,835
税引前四半期利益	2,051	-105	-2,155
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,544	-73	-1,617
為替レート US\$	¥149	¥152	+¥3
EURO	¥162	¥176	+¥14
CAN\$	¥108	¥109	+¥0

前年実績対比

第3四半期(3ヵ月)実績 営業利益増減要因

(億円)



事業環境変化	-675	モノづくり活動	-189	販売活動	-493	原価低減活動	+47	その他	-526
為替影響*	-7	製造固定費	-113	台数差・価格構成差	-640	原価低減	+47	保証修理費	-114
・売上仕入レート差	+13	研究開発費	-76	販売奨励金	+178			その他経費	-323
・未実現利益分	-103			販売関連費	+53			上記以外	-89
・期末日レート差	+83			部品用品	-83				
原材料・市況	-46			自動車その他利益	-1				
米国追加関税影響	-622								

*海外向け売上分において、為替レートの変動により影響を受けたものは「売上仕入レート差」と「未実現利益分」。外貨建て引当金残高を円換算評価する際に生じた影響は「期末日レート差」。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2025年3月期および2026年3月期実績(四半期別)

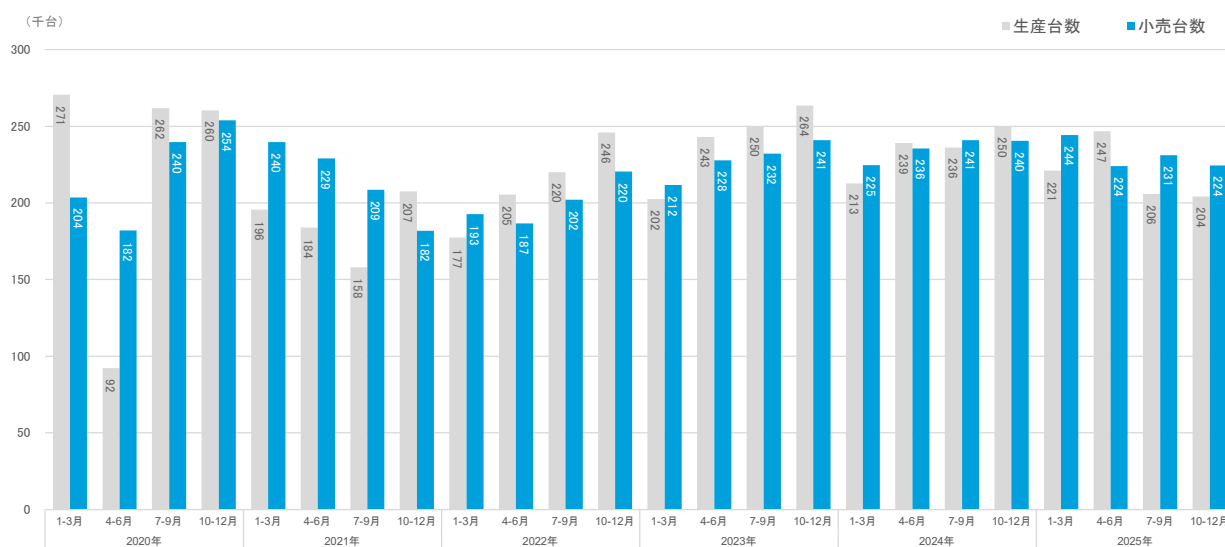
(億円)

	2025年3月期				2026年3月期		
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績
連結販売台数(千台)	212	238	258	229	244	229	203
生産台数*(千台)	239	236	250	221	247	206	204
売上収益	10,921	11,740	12,702	11,494	12,141	11,716	11,333
営業利益	911	1,309	1,472	362	764	263	-364
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	840	790	1,544	207	548	356	-73
為替レート US\$	¥153	¥154	¥149	¥154	¥146	¥146	¥152

*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

生産台数/小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。